「む」で始まる語彙辞典

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「む」で始まる語彙辞典 4

おわりに 16

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「む」で始まる語彙辞典

む - かう【無何有】
《「何有」は「何か有らむ」と読み、何物もない意。「むがう」とも》
自然のままで何の作為もないこと。また、そのような状態。むかゆう。

昔(むかし)は昔今は今味
昔と今は違うのであるから、昔がこうだから、今もこうあるべきであるというようなことは成り立たない。

む - かんがえ【無考え】
［名・形動］
深い考えや思慮のないこと。また、そのさま。「―な（の）行動」

むき - てき【無機的】
［形動］
生命力の感じられないさま。「電光掲示板の―な文字」

む - きどう【無軌道】
［名・形動］
① 軌道がないこと。「―電車」
② 考え方や行動が常識はずれなこと。また、そのさま。「―な若者たち」「―な生活」

むき - ふむき【向き不向き】
ある人にとって、適していることと適していないこと。「スポーツには―がある」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

む - ぎこう【無技巧】
［名・形動］
技巧をこらさず、自然のままであること。また、そのさま。「年輪を感じさせる―な（の）技巧」

む - げ【無碍無礙】
［名・形動］
妨げのないこと。何ものにもとらわれないこと。また、そのさま。「融通―」

無下(むげ)に◦する
捨てて顧みないでいる。すげなくする。だいなしにする。むだにする。「せっかくの好意を―◦するのは心苦しい」

む - げん【夢幻】
ゆめとまぼろし。また、はかないことのたとえ。「―のこの世」

む - げんそく【無原則】
［名・形動］
原則がないこと。基本方針がはっきりしていないこと。また、そのさま。「―なやり方」

むげん - てき【夢幻的】
［形動］
夢や幻のような感じのするさま。「ライトアップした―な夜景」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

むこう - いき【向こう意気】
相手に対抗して張り合う気持ち。向こう気。「―が強い」

向(む)こうに回・す
相手として張り合う。敵とする。「専門家を―・して自説を通す」

向(む)こうを張・る
張り合う。対抗する。「競争相手の―・って安売りする」

む - さいげん【無際限】
［名・形動］
際限がないこと。きりがないこと。また、そのさま。「―な欲望」

む - さくい【無作為】
［名・形動］
作為がないこと。偶然にまかせること。また、そのさま。「―に選び出す」

むし - おさえ【虫押（さ）え】
① 子供の虫気(むしけ)の予防や治療をすること。また、その薬。
② 空腹の一時しのぎに少し物を食べること。また、そのもの。

虫(むし)が知ら・せる
前もって心に感じる。予感がする。「―・せたのか事故機に乗らずに済んだ」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

むし - むし【蒸し蒸し】
［副］（スル）
風がなくて湿度が高く、蒸し暑いさま。「―（と）して寝苦しい」

虫(むし)も殺さ◦ない
虫さえも殺せないほどおとなしそうである。「―◦ない顔で悪事を働く」

虫(むし)を殺・す
怒りを抑えて我慢する。「―・して客に応対する」

むすめ - ざかり【娘盛り】
若い女性として最も美しい年ごろ。

む - せっそう【無節操】
［名・形動］
節操のないこと。また、そのさま。「―な振る舞いをする」

む - そう【夢想】
［名］（スル）
① 夢の中で思うこと。夢に見ること。「―だにしない歓迎を受ける」
② 夢のようにあてもないことを想像すること。空想すること。「―家」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

むだ - ぐい【無駄食い】
［名］（スル）
① 必要以上に食うこと。間食をすること。「学校帰りに―する」
② 働きもしないで食うだけであること。遊び暮らすこと。また、その人。としょく。仕事にも就かずに―する」

無駄飯（むだめし）を食・う
働きもしないでぶらぶら暮らす。「わが家に―・わせる余裕はない」

むつま - やか【睦まやか】
［形動］［文］［ナリ］
仲むつまじいさま。「―に語り合う」

むつみ - あ・う【睦み合う】
［動ワ五（ハ四）］
互いになれ親しむ。仲よくし合う。「―・った仲」

む - ていけん【無定見】
［名・形動］
しっかりした考え方や意見を持っていないこと。確固とした見識がないこと、そのさま。「―な政策」

胸倉（むなぐら）を取・る
手を伸ばして相手の胸倉をつかむ。「―・ってこづきまわす」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

むな - ぐるし・い【胸苦しい】
［形］［文］むなぐる・し［シク］
胸が圧迫されるようで息苦しい。「―・い一夜を明かす」

むなつき - はっちょう【胸突き八丁】
① 富士登山で頂上までの 8 丁（約 872 メートル）の険しい道。転じて、急斜面の長い坂道。
② 物事を成し遂げる過程で、いちばん苦しい正念場。「交渉は―にさしかかる」

むにゃ - むにゃ
［副］
わけのわからない言葉を口の中でつぶやくさま。「―（と）言葉を濁す」

胸(むね)がす・く
心が晴れやかになる。すっとする。「―・く逆転ホームラン」

胸(むね)が潰(つぶ)・れる
悲しみや驚きなどで、心がしめつけられる思いがする。「突然の悲報に―・れる」

胸(むね)がつま・る
心配や悲しみごとなどで感情が高ぶり、胸が苦しくなる。「―・り、言葉が出てこない」

胸(むね)が轟(とどろ)・く
心臓がどきどきする。心がときめく。「大試合を前に―・く」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

胸(むね)が晴(は)・れる
わだかまりが消え、晴れ晴れとした気持ちになる。「言いたいことを言ったので、―・れる」

胸(むね)が塞(ふさ)が・る
不安や心痛などで胸が詰まるように感じる。「暗いニュースに―・る」

胸(むね)が焼・ける
胃のあたりが熱く感じられる。胸焼けがする。「食べ過ぎで―・ける」

胸(むね)が悪・い
① 吐きけがする。
② むかむかするほど腹立たしい。「思い出すだけでも―・くなる」

胸三寸(むねさんずん)に納・める
心の中にしまい込んで、顔にも言葉にも出さないでいる。胸三寸に畳む。「何もかも―・めておく」

胸(むね)に余・る
思いが積もりに積もってあふれるばかりになる。また、悩みすぎて心の整理や判断ができなくなる。

胸(むね)に一物(いちもつ)
口には出さないが心の中にたくらみを抱くこと。「―ありそうな面(つら)構え」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

胸(むね)に浮か・ぶ
心に思い浮かぶ。ふと思いつく。「―・んだままを文章にする」

胸(むね)に描・く
想像してみる。思い浮かべる。「未来を―・く」

胸(むね)に納(おさ)・める
心の中に秘めて、口に出さない。胸に畳む。「事の真相を―・める」

胸(むね)に落(お)・ちる
納得がいく。腹に落ちる。腑(ふ)に落ちる。「先生の言葉が―・ちる」

胸(むね)に聞・く
心の中でよく考える。「そのわけは自分の―・いてみたらいい」

胸(むね)に刻・む
心にしっかりとどめる。「母の面影を―・む」

胸(むね)に応(こた)・える
心に強く感じる。痛切な思いが残る。胸にひびく。「何気ない一言が―・えた」

胸(むね)に刺(さ)さ・る
心に強い衝撃を受ける。心に刺さる。「恩師の言葉が―・る」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

胸(むね)に迫・る
ある思いが強く押し寄せる。感動する。「万感(ばんかん)―・る」

胸(むね)に畳・む
心の中にしまっておく。胸に納める。「思い出を―・む」

胸(むね)に手を置・く
心を落ちつかせるために両手を胸にあてがう。じっくり思案する。「―・いて思い出してごらん」

胸(むね)の痞(つか)えが下(お)・りる
《「痞え」は、胸がふさがり苦しいこと》
心の悩みや不満がなくなり、気持ちがすっきりする。「本当のことを打ち明けて、―・りる」

胸(むね)を貸・す
相撲で、上位の力士が下位の者にけいこの相手をしてやる。また、一般に実力のある者が下の者の練習の相手をしてやる。

胸(むね)を借・りる
相撲で、上位の力士にけいこの相手をしてもらう。また、一般に実力のある者に練習の相手をしてもらう。

胸(むね)を焦が・す
あれこれと思いわずらう。思いがつのって切なくなる。「恋に―・す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

胸(むね)を刺(さ)・す
心に強い衝撃をあたえる。「深い悲しみが―・す」

胸(むね)を衝(つ)・く
① 心に衝撃を与える。ショックを受ける。「たわいのない冗談が―・く」
② さまざまな思いがつのる。「前途への不安が―・く」

胸(むね)を撫(な)で下ろ・す
心配事が解決してほっとする。安心する。「娘の無事に―・す」

胸(むね)をふくらま・す
期待や喜びで胸がいっぱいになる。「希望に―・す」

む‐はんせい【無反省】
失敗を反省しないこと。自らを省みて改めようとするようすが見られないこと。「同じ間違いが―に繰り返される」

む‐ひ【無比】
［名・形動］
他に比べるものがないこと。たぐいないこと。また、そのさま。無双。無二。「当代―な（の）力士」「正確―」「痛快―」

む‐へん【無辺】
［名・形動］
広々として果てしないこと。また、そのさま。「―な（の）宇宙」「広大―」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

む - へん【無偏】
一方にかたよっていないこと。平等に広く行き渡ること。「―無党」

むめい - し【無名氏】
名前がわからない人。名前を記してない人。失名氏。「―による投稿」

む - もくてき【無目的】
［名・形動］
目的をもたないこと。目的がないこと。また、そのさま。「近所を―に歩く」

むら - ぎえ【斑消え】
ところどころ消えること。まだらに消え残ること。「―の雪の間から芽を出す」

むり - おし【無理押し】
［名］（スル）
強引に物事を押し進めること。「―しても、だめだ」

む - りかい【無理解】
［名・形動］
あることについての理解がないこと。相手の気持ちなどをわかろうとしないこと。また、そのさま。「周囲の―が問題解決を困難にした」「若者に―な大人たち」

むり - さんだん【無理算段】
［名］（スル）
極めて苦しい状況の中でなんとか物事や金のやりくりをつけること。「―して借金を返す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

むり - むたい【無理無体】
［名・形動］
相手の意志を無視して、強制すること。また、そのさま。「―な要求」「いやがる子を―に連れ出す」

むりょう - むへん【無量無辺】
はかり知れないこと。果てしないこと。「―の功徳(くどく)」

無理(むり)を通(とお)・す
道理に外れたことを、強引に押し切って行う。また、困難を承知で強引に行う。

むるい - とびきり【無類飛（び）切り】
［名・形動］
他に比べるものがないこと。また、そのさま。「―な（の）スリルを味わう」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.